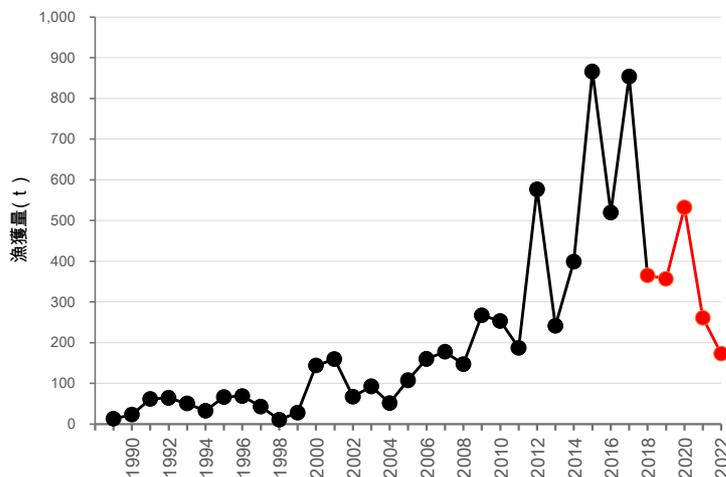


ブリ

令和4年12月

資源の動向 「中位・減少」

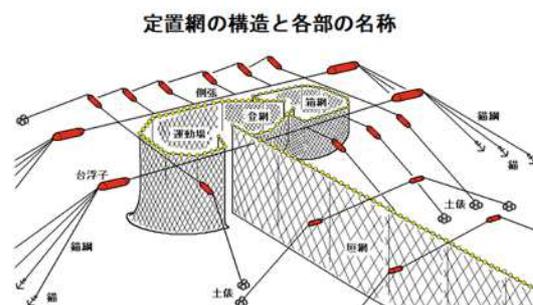


相模湾のブリ漁獲量は2017年から大きく減少傾向にある。日本周辺のブリ資源量はここ数年30万トンを超えており、高い値が続いているが、相模湾における直近5年の傾向は「中位・減少」である。

相模湾のブリ類漁獲量の経年変化
(定置網: 1989~2022)

対象漁業

○定置網



生物学的特性



○分布: 日本の沿岸全域に分布

○移動: ブリは2歳未満の未成魚は大きな回遊をせずに地先付近に滞在し、2歳以上となった成魚の多くが東シナ海の産卵場まで南下回遊を行う。産卵を終えた成魚は索餌のため北上回遊を行う。

○成長・産卵期: 1歳で尾叉長40cm以上、2歳で60cm前後に成長する。出世魚として知られ、成長段階ごとにモジャコ→ワカシ→イナダ→ワラサ→ブリと呼び名が変わる。産卵可能年齢は2歳以上、寿命は7歳前後と考えられている。産卵期は九州から北陸の海域で1~7月とされている。